

森と共に暮らす人びとの現状を訪ねて

この会が発足して25年になります。小さなNGOではありますが、「パプアニューギニアたソロモン諸島の森を守ることは、日本の森を守ること」の旗印の下、振れずに活動して参りました。今回も清水靖子、倉川秀明、大学生の池田英生が参加し、10月20日～11月24日迄1ヶ月以上に渡って調査、交流をすることができました。丁度APEC(ポートモレスビーで開催)と重なり多くのハプニングに遭遇しましたが、無事目的を果たすことができました。会員の皆様のご支援、心から感謝いたします。下記のように報告させていただきます。ご参加下さい。



司会 辻垣正彦(建築家)

写真 ラウラウの実を売る少女

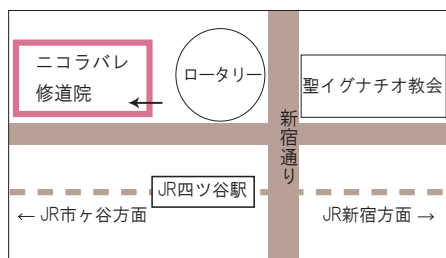
- その1「ポール・パボロさんの今とムー村の人々」
お話し:倉川秀明(有機農業を営む)
- その2「マラクル村は地上の楽園だった」
お話し:池田英生(大学4年建築専攻)
- その3「自然と共に暮らす人々の優しさ」
お話し:清水靖子(メルセス宣教修道女会)

とき:2019年3月24日(日)

13:00開場 13:30～15:45

会場:ニコラ・バレ修道院 1F 105号室

参加費:1,000円(資料代を含む)



会場 ニコラ・バレ修道院

東京都千代田区六番町14-4 TEL:03-3261-0825

JR四ツ谷駅麴町口下車 徒歩1分、地下鉄丸の内線四ツ谷駅下車 徒歩3分

主催:「パプアニューギニアとソロモン諸島の森を守る会」

問い合わせ:東京都品川区西五反田8-10-14イトーピア五反田206/TEL:03-3492-4245